

行動目標

- ①胸部単純X線像と腹部単純X線像を正しい手順にしたがって解釈できる。
- ②MRI、CT画像を正しい手順にしたがって解釈できる。
- ③心電図を正しい手順にしたがって解釈できる。
- ④腹部の超音波検査を体験し、正しい手順にしたがって解釈できる。
- ⑤一般的血液検査を正しく実施できる。
- ⑥一般的尿検査を正しく実施できる。

実習時間・担当診療科・集合場所(時間割参照)

11月8日から月・水曜日の15時00分～16時30分(1.5時間)

グループ毎に各検査実習の各検査実習のユニットをローテートします。

2グループは医療面接、身体診察、外科手技のおさらいを医療系統合教育研究センターで行います。

持ってくる物

白衣、名札、男性はネクタイ着用、筆記用ボード、筆記具

実習内容

1. CT、MRIおよびX線診断(腹部単純、胸部単純)

教員の指示に従い、フィルムの扱い方、および画像の読影実習を行う。最終的には学生が自分でシャーカステンにフィルムをかけて、読影行動ができるようになるまで練習する。

2. 心電図演習

心電図解釈の演習を行う。講義ノート、参考図書等を持参すること。

3. 血液の診断法実習

臨床医学実習で自分ができるようになるために、病棟で行われる血液検査を実習する。学生相互で静脈採血の練習をします。

(血計、ヘマトクリット、血液型、総蛋白、血糖、血液像など)

4. 尿の診断法実習

病棟で行われる尿検査を実習する。(検尿、尿比重、ドンネ、沈渣など)

5. 腹部超音波検査

腹部超音波検査を実習する。(男子学生を被験者とする)

自主学習を勧めます。

ノート、参考図書、ビデオソフトなどで検査法について復習しておいてください。医療系統合教育研究センターAV実習室で各検査法の教育用ビデオソフトを借りて視聴することができます。